

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
九州工科自動車専門学校		昭和28年11月10日		中広 義隆		〒 860-0816 (住所) 熊本県熊本市中央区本荘町657 (電話) 096-366-3862		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人宮崎総合学院		昭和61年3月3日		川越 宏樹		〒 880-0801 (住所) 宮崎県宮崎市老松一丁目3番7号 (電話) 0985-22-0658		
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
工業	工業専門課程	自動車整備科		平成 6(1994)年度		平成26(2014)年度		
学科の目的	「より高い人格、練磨された技能」を教育方針とし、めざましい技術革新の続く現代社会に十分対応できる人材の育成及び未来の自動車整備業界を担う人材の育成を目的とする。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	一人ひとりのレベルに合わせた徹底指導で、自動車の構造といった基礎から整備に関する法律などの高度な知識までしっかりと学べる。実習に力を入れており、豊富な実習時間で技術を磨ける。 資格可能な資格: 二級自動車整備士(総合)・損害保険募集人資格・低圧電気取扱業務特別教育							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	1,715 単位時間	572 単位時間	0 単位時間	1,143 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			64 単位	40 単位	0 単位	24 単位	0 単位	0 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留學生数(生徒実員の内数)(B)		留學生割合(B/A)	中退率			
120 人	109 人	8 人		0 %	4 %			
就職等の状況	■卒業者数(C) : 45 人							
	■就職希望者数(D) : 45 人							
	■就職者数(E) : 45 人							
	■地元就職者数(F) 36 人							
	■就職率(E/D) 100 %							
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) 80 %							
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C) 100 %							
	■進学者数 0 人							
	■その他							
	なし							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無							
	※有の場合、例えば以下について任意記載							
	評価団体:	受審年月:			評価結果を掲載したホームページURL			
当該学科のホームページURL	https://www.kyukoo.ac.jp/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数		1,715 単位時間					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		74 単位時間					
	うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間					
	うち必修授業時数		1,715 単位時間					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		54 単位時間					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		54 単位時間					
	(B: 単位数による算定)							
	総単位数		64 単位					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		1 単位						
うち企業等と連携した演習の単位数		0 単位						
うち必修単位数		64 単位						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		1 単位						
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		0 単位						
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		1 単位						
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)		0 人					
	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)		2 人					
	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0 人					
	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0 人					
	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)		9 人					
	計		11 人					
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		11 人					

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

自動車整備科は、整備士の養成を教育目的とし、自動車業界等の企業関係者を教育課程編成委員会委員に選任し、最新の機械技術による整備業界の専門性の動向、ユーザー環境の新たな指向、整備技術実務に関する知識、技術について、企業関係者からの意見等を十分に反映して、必須科目以外の教科、実体社会に合致した授業内容・実技を中心とした方法の改善を図っていく方針である。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

別添「九州工科自動車専門学校 教育課程編成委員会(以下「委員会」という。)の位置付に関する規程のとおり、校長直轄の組織として委員会を設置し、カリキュラム等の改善・方法に対する意見を聴取、これを基に、校長以下、教務担当者がカリキュラムの内容、改善策について検討し、次年度に向け改善を行っていくこととしている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年8月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
梅木 博文	九州産交オートサービス株式会社	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	③
中山 英治	熊本トヨペット株式会社	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	③
平川 幸一	熊本日野自動車株式会社	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	③
福山 敏章	株式会社スズキ自販熊本	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	③
工藤 真二	熊本日産自動車株式会社	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	③
緒方 勝行	(一般)熊本県自動車整備振興会	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	①
中広 義隆	九州工科自動車専門学校	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	—
堤 満久	九州工科自動車専門学校	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	—
塩月 大	九州工科自動車専門学校	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	—
木村 信宜	九州工科自動車専門学校	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	—
中山 恵晴	九州工科自動車専門学校	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	—
瀬尾 翔太	九州工科自動車専門学校	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月20日 16:30～18:00

第2回 令和7年2月21日 16:30～18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

今年度の教育課程編成委員会等の意見を次年度の授業内容、方法の改善、工夫に活用する。具体的には学内で困難な特に自動車整備作業で、ハイブリッド車講習、電気自動車等の講習等を企業現場や整備振興会実習工場において連携して実施していく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

整備業界の技術的進歩について現場での実習、及び最新の整備技術の実習、特に技術進歩の著しいハイブリッド車、電気自動車等のエンジン構造、技術及び車体の基本等について学習する。

又、業界団体主催の基本研修に参加し、他校との切磋琢磨による学習度をアップさせる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

各社の整備技術の実習、及エンジン構造等の各メーカーによる相違等に伴う実習内容の違い、特にハイブリッド車等の各社整備技術の習得を行う。学修成果の評価については学生が習得した技術を含む実践的かつ専門的能力について評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
自動車整備作業	3.【校外】企業内実習(4に該当するものを除く。)	電子制御装置	いすゞ自動車九州株式会社
自動車整備作業	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	電子制御装置	熊本三菱自動車販売株式会社
自動車整備作業	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	電子制御装置	熊本トヨタ自動車株式会社 熊本トヨペット株式会社 ユナイテッドトヨタ熊本株式会社 ネットトヨタ熊本株式会社
自動車整備作業	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	電子制御装置	熊本日産自動車株式会社 日産プリンス熊本販売株式会社
自動車整備作業	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	電子制御装置	スズキ自販熊本株式会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員の研修に関する規定 第2条に基づき、実施する。

・現在の整備業界の動向、新技術開発等による各メーカー別の技術研修、電気自動車等の構造、装備、車体の研修及び業界団体主催の技術講習会等への参加

・専各連、文科省、全国自動車整備専門学校協会(以下JAMCAという)等主催による一般教養及び専門学科、技術の研修への参加

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員の研修に関する規定 第2条に基づき、実施する。

・現在の整備業界の動向、新技術開発等による各メーカー別の技術研修、電気自動車等の構造、装備、車体の研修及び業界団体主催の技術講習会等への参加

・専各連、文科省、全国自動車整備専門学校協会(以下JAMCAという)等主催による一般教養及び専門学科、技術の研修への参加

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	日産先進技術に関する体験型研修会	連携企業等:	日産自動車株式会社
期間:	令和6年8月5日	対象:	教職員
内容	日産の最先端車両を用いた体験と技術講習		
研修名:	いすゞ自動車新技術研修	連携企業等:	いすゞ自動車株式会社
期間:	令和6年8月8日～8月9日	対象:	教職員
内容	いすゞ自動車の社内見学及び新技術の講習		
研修名:	整備主任者研修	連携企業等:	(一般)熊本県自動車整備振興会
期間:	令和6年12月19日	対象:	教職員
内容	自動車の新機構や法令等の確認		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	一般社団法人 全国専門学校教育研究会	連携企業等:	一般社団法人 全国専門学校連合会
期間:	令和6年5月8日	対象:	教職員
内容	継続的価値のある人材育成の考え方		
研修名:	新任教員研修	連携企業等:	一般社団法人職業教育キャリア教育財団
期間:	令和6年8月6日～8月8日	対象:	教職員
内容	新任教員の指導力アップを目指す		
研修名:	JAMCA夏季教職員研修会	連携企業等:	JAMCA
期間:	令和6年8月6日～8月9日	対象:	教職員
内容	新技術講習(現行車両における)		

(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	教員向け技術講習会	連携企業等: 熊本スバル自動車株式会社
期間:	令和7年8月7日	対象: 教職員
内容	SUBARU技術研修	
研修名:	日産先進技術に関する体験型研修会	連携企業等: 日産自動車株式会社
期間:	令和7年8月21日～8月22日	対象: 教職員
内容	日産の最先端車両を用いた体験と技術講習	
研修名:		連携企業等:
期間:		対象:
内容		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	一般社団法人 全国専門学校教育研究会	連携企業等: 一般社団法人 全国専門学校連合会
期間:	令和7年5月8日	対象: 教職員
内容	ペップトーク やる気を引き出す魔法の言葉	
研修名:	JAMCA夏季教職員研修会	連携企業等: JAMCA
期間:	令和7年7月28日～8月1日	対象: 教職員
内容	多様化する現代の学生たちへの指導法のレベルアップを図る	
研修名:		連携企業等:
期間:		対象:
内容		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価を職員が一体となって取り組み、自ら学校運営、教育活動を改善していくとともに、特に、本校と関連の深い企業等の関係者、卒業生、業界団体等からなる学校関係者評価委員会を設置して評価を実施し、公表するとともに、この評価に沿った改善を図っていくこととする。

また、これらの意見を反映し、学校側の意向に沿ったものに偏りがちな学校運営や教育内容から、真に社会が求める職業

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校経営
(2) 学校運営	学校経営
(3) 教育活動	教務
(4) 学修成果	教務
(5) 学生支援	進路支援
(6) 教育環境	事務部
(7) 学生の受入れ募集	事務部
(8) 財務	学校経営
(9) 法令等の遵守	学校経営
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会を開催し、評価委員の意見を聴取した。その中で、今は自動車に興味がある高校生が少ないと意見があり、自動車整備士を増やすためにこれからも学校と企業が連携し自動車に興味を持ってもらえるような募集活動に繋げていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
梅木 博文	九州産交オートサービス株式会社	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	企業等委員
中山 英治	熊本トヨペット株式会社	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	企業等委員
平川 幸一	熊本日野自動車株式会社	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	企業等委員
福山 敏章	株式会社スズキ自販熊本	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	企業等委員
工藤 真二	熊本日産自動車株式会社	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	企業等委員
緒方 勝行	(一般)熊本県自動車整備振興会	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.kyukoo.ac.jp/>

公表時期: 45965

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学科の内容、学生支援、学生納付金、学校評価等については、ホームページで公開していくこととする。

今後もホームページを充実し、情報提供を積極的に行い、学校関係者の理解、評価を促進し、適切な学習機会の選択に資するとともに、社会に対する説明責任、学校関係者からの意見を聴取しながら、教育の質の更なる向上を図っていくことと

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要
(2)各学科等の教育	学科・コースの特色
(3)教職員	学校概要
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援・実績
(5)様々な教育活動・教育環境	年間スケジュール
(6)学生の生活支援	学校が設定する項目概要
(7)学生納付金・修学支援	募集要項
(8)学校の財務	学校の財務の状況
(9)学校評価	令和6年度自己点検・評価・学校関係者評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホ-ムページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.kyukoo.ac.jp/>

公表時期: 令和7年11月20日

授業科目等の概要

#REF!															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員 兼 任	企業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 技 術 実 習 ・ 実	校 内	校 外		
1	○			自動車工学	エンジン1	1 前	36	2	○			○	○		
2	○			自動車工学	エンジン3	2 前	36	2	○			○	○		
3	○			自動車工学	シャシ1	1 前	53	3	○			○	○		
4	○			自動車工学	シャシ3	2 前	55	3	○			○	○		
5	○			自動車工学	自動車の力学・数学1	1 前	18	1	○			○	○		
6	○			自動車工学	自動車の力学・数学2	1 後	24	1	○			○	○		
7	○			自動車工学	電装・電子制御装置1	1 前	20	1	○			○	○		
8	○			自動車工学	自動車の力学・数学3	2 前	20	1	○			○	○		
9	○			自動車工学	自動車基礎1	1 前	18	1	○			○	○		
10	○			自動車工学	自動車基礎2	1 後	24	1	○			○	○		
11	○			自動車工学	整備機器1	1 前	17	1	○			○	○		
12	○			自動車工学	整備機器2	1 後	20	1	○			○	○		
13	○			自動車整備関連	エンジン2	1 後	40	2	○			○	○		
14	○			自動車整備関連	エンジン4	2 後	36	2	○			○	○		
15	○			自動車整備関連	シャシ2	1 後	57	3	○			○	○		
16	○			自動車整備関連	シャシ4	2 後	55	3	○			○	○		
17	○			自動車整備関連	電装・電子制御装置2	1 後	18	1	○			○	○		
18	○			自動車整備関連	自動車の力学・数学4	2 後	20	1	○			○	○		
19	○			自動車整備関連	故障原因探求1	2 前	18	1	○			○	○		
20	○			自動車整備関連	故障原因探求2	2 後	23	1	○			○	○		
21	○			自動車整備関連	基礎整備	1 前	20	1	○			○	○		
22	○			自動車整備関連	HV	1 後	21	1	○			○	○		
23	○			自動車整備関連	電装・電子制御装置3	2 前	18	1	○			○	○		
24	○			自動車整備関連	電装・電子制御装置4	2 後	23	1	○			○	○		
25	○			自動車整備関連	法令	2 前	39	2	○			○	○		
26	○			自動車検査	自動車検査	2 後	39	2	○			○	○		

27	○		自動車整備作業	エンジン点検・分解・組立・調整・検査	1 前	187	4			○	○	○		
28	○		自動車整備作業	エンジン点検・分解・組立・調整・検査	2 前	183	4			○	○	○		
29	○		自動車整備作業	シャシ点検・分解・組立・調整・検査	1 後	165	3			○	○	○		
30	○		自動車整備作業	シャシ点検・分解・組立・調整・検査	2 前	95	2			○	○	○		
31	○		自動車整備作業	電装点検・分解・組立・調整・検査	1 後	140	3			○	○	○		
32	○		自動車整備作業	電装点検・分解・組立・調整・検査	2 後	144	3			○	○	○		
33	○		自動車整備作業	故障原因探究	2 後	96	2			○	○	○		
34	○		自動車整備作業	電子制御装置	1 前	93	2			○	○	○		
35	○		自動車検査作業	検査作業	2 後	52	1			○	○	○		
36														
37														
38														
39														
40														
41														
42														
43														
44														
45														
46														
47														
48														
49														
50														
51														
52														
53														
54														
55														
合計				35 科目			64 単位（単位時間）							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：学校規定に定める試験に合格し・履修時間においても国土交通省規	1 学年の学期区分	2 期	
履修方法：シラバスに記載（基本的に全科目を履修）	1 学期の授業期間	24 週	

（留意事項）
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。